

萩ジオパーク

推進協議会だより

vol.131

萩ジオパーク推進協議会

| 2026年1月31日発行 |



〒758-0041

山口県萩市大字江向602 萩・明倫学舎本館2階

TEL 0838-21-7765

FAX 0838-25-7767

E-mail geo@city.hagi.lg.jp

URL <https://hagi-geopark.jp>

Social <https://www.facebook.com/HagiGeoProject>

Twitter @hagi_geopark

新企画! 食と大地の研究所 ~お米の味は産地で変わる? 阿東のお米食べ比べ~ を開催しました。

『食と大地の研究所』は食を切り口に“大地と人のつながり”に触れ、大地と向き合うことの大切さを学ぶ体験型講座で、参加者の皆さんがあら実験・考察などしていたたく新企画です。今回は阿東のお米を題材に「産地が違えば味も香りも変わる?」をテーマとし、参加者は生産者や萩ジオパーク専門員の説明を聞いて、異なる産地のお米を食べ比べながら、その違いを探りました。

阿東地域は県内有数の米どころですが、同じ阿東地域内でもそれぞれの産地があり、生産者はその土地と向き合いながら米作りを行っています。

最初に阿東地域の嘉年、徳佐、地福の生産者とジオパーク専門員に普段の米作りや標高差など地形の違いなどをお話いただきました。

食べ比べでは上記3地区と県外産のお米について産地を伏せて、どのお米が香り・甘味・もちもち感が強いかを参加者に食べた感想を記入してもらいました。

今回の調査では、香りと甘味の違いはあまり感じられなかった人が多かったですが、県外のお米とはもちもち感の違いを感じられた方が多かったという結果となりました。結果については実験するまで誰もわからないという面白さが加わり、参加者だけでなく主催者にとっても斬新な企画になったのではないかと思います。



第2弾は阿武町で海藻を題材に2月15日(日)に開催します（詳細：後のページをご覧ください）。

学校教育連絡会議を開催しました

1月13日、萩ジオパーク推進協議会では「学校教育連絡会議」を開催しました。萩市、阿武町、山口市阿東の小中学校から担当の先生方にご参加いただき、計24名が集まりました。本会議は、学校教育の現場とジオパークとの連携をより深めていくための意見交換の場として実施しています。

萩ジオパークではこれまで、地元の学校を中心に、年間30件前後の出前授業や現地学習の依頼を受けてきました。火山や地層といった理科の学習にとどまらず、地域の文化や産業と結びつけた学びを重ねてきたことは、大きな蓄積となっています。一方で、そうした取り組みの多くが単発で終わってしまうという課題もありました。

当日は専門員から、ジオパークの基本的な考え方や次期計画の方向性を紹介したうえで、「パートナースクール」という新しい試みについて提案しました。これは、これまでの出前授業の蓄積を土台に、特定の学校と継続的に関わりながら、より中長期的で深い学びのプロジェクトに発展させていこうとするものです。話の途中には、先生同士で感想や意見を共有する対話の時間を設け、現場の実情や率直な思いが交わされました。

最後には、今後の学校でのジオパークを取り入れた学習について、意見やアイデアを紙に書いて残していただきました。学校現場は非常に忙しく、複数年にわたるプロジェクト型の学習を導入するには多くの課題があることも共有されましたが、ジオパークの考え方や学びの方向性そのものには、どの先生からも強い共感が示されていたことが印象的でした。

これまでの実践の積み重ねを活かしながら、学校とともに新しい学びの形に挑戦していく。その第一歩として、今回の連絡会議は大きな意味を持つ時間となりました。今後も現場の声を大切にしながら、連携の可能性を探つていきます。



萩ジオパーク推進協議会 令和8年度定期総会

萩ジオパーク推進協議会では、年に一度、定期総会を開催しています。前年度の事業報告や決算、次年度の事業計画や予算案についてご説明し、委員の皆さんにご承認いただいた上で、次年度の活動を進めています。今回の定期総会は、下記の通り開催します。

【日時】 令和8年2月12日（木）15時から

【場所】 萩市役所大会議室（萩市江向510番地）

今回は、本年度内にご承認いただく必要のある議案があるため、例年より早い時期での開催となります。当日は、令和7年度の決算見込みおよび令和8年度の予算（案）に加え、萩ジオパーク次期基本計画（案）についてもご説明いたします。

萩ジオパークに関わる各団体から選任された委員の皆さんには、別途ご案内しておりますとおり、ご出席くださいますようお願ひいたします。

なお、総会の様子や承認された事項などにつきましては、次号の協議会だよりにて皆さんにご報告いたします。

笠山山頂展望台『鳶ノ巣』～萩・椿まつりとのコラボ企画～

✿ 椿期間限定カフェメニュー ✿

- 椿彩(つばきいろ)のハーブティー 600円
- 椿のショートブレッド 200円
- 販売期間：2/7（土）～3/22（日）



✿ 地元「越ヶ浜」小・中学生がデザインした椿柄のカップシールでドリンク販売 ✿

販売期間：2/7（土）～3/22（日）

※月曜定休 祝日の場合は翌日 ラストオーダー 14:30（2月）・15:30（3月）

✿ ジオギンチャク・トートバック製作体験（椿柄など）✿

2/22（日） 10:00～15:00



※詳細については萩ジオパーク推進協議会HPをご覧ください。

萩ジオパークフェア 2026

年に一度の祭典「萩ジオパークフェア」を3月1日（日）に開催。今年は会場全体を研究所（ラボ）に見立て、大地と人の間にある秘密を解き明かしたり、楽しんだりできるコーナーを用意しています。また、「萩・明倫学舎の文化祭」とも同時開催です。



【日時】 3月1日（日） 10:00～16:00

【場所】 「萩・明倫学舎」 本館2階・3号館2階（萩市江向602番地）

- 【内容】
- 大地の成り立ち実験室～足元の“大地”はどうやってつくられる？～
火山噴火実験など
 - 食と大地の実験室～食と大地の“つながり”をみつけよう～
食べくらべ・飲みくらべなど
 - くらしと大地の実験室～大地に合ったくらしの“知恵”とは？
くらしを支える技術の体感など
 - クイズラリー「半田くんからの挑戦状」

萩ジオパークキャラクター「半田くん」からのクイズに挑戦しよう

※予約不要

※体験料が有料のものもあります



【参加者募集】

食と大地の研究所第2弾

～海藻っていつどこに生えてるの？阿武の海藻観察＆試食会～

私たちにとって身近な食材である海藻は、生える季節や場所の違いがあり、海の営みを支える大事な存在でもあります。阿武町奈古の海で実際に採取・観察・試食して、場所による形や食感の違いを確かめてみます。

【日 時】 2026年2月15日（日） 13:00～15:00

【集合・解散】 ABUキャンプフィールド内 SUNbashi CAFÉ（阿武町奈古阿武町奈古2248-1）

【講 師】 一般社団法人あぶナビ 福本真司／萩ジオパーク専門員 白井孝明

【内 容】

今が旬のワカメやヒジキ、ノリ等、身近な食材の海藻が、いつ・どこに・どんな風に生えているのかを知ることで、海と私たちの暮らしのつながりにせまります。

●海藻に詳しい漁師さんの話～海藻ってどんな生物？大事な役目とは？

●港で海藻の観察～海藻が生えている様子を見てみよう

●室内での詳しい観察＆試食～採集した海藻を観察しよう。食べてみよう。



【参加費】 中学生以上1,000円、小学生以下500円

【定 員】 20名（先着申込順）

【持参物】 長靴、タオル

【申 込】 申込みフォームより（期限2月10日（火）まで）



2月～3月上旬の予定

Ogeoとも(萩ジオ友の会)定例会 2月21日(土) 内容:会員同士の意見交換など 場所:萩・明倫学舎3号館交流室 参加:会員のみの限定 主催・問合せ:geoとも(中西 080-8747-9383)

●ガイド技術＆体験プログラム開発 実践講座 2月7日(土)・8日(日)・21(土) 時間:隔日9:30～16:30 場所:笠山・須佐 内容:ジオパークに関する体験講座や学校授業への対応の技術養成、プログラム開発を実践 参加:募集終了 主催:萩ジオパーク推進協議会(0838-21-7765)

●萩ジオパーク推進協議会定期総会 2月12日(木)15:00～17:00 場所:萩市役所大会議室 内容:令和7年度事業・決算見込、令和8年度事業計画・予算案、萩ジオパーク次期計画案など 主催:萩ジオパーク推進協議会(TEL:0838-21-7765)

●食と大地の研究所～海藻っていつどこに生えてるの？阿武の海藻観察＆試食会～ 2月15日(日) 時間:13:00～15:00 場所:ABUキャンプフィールド内 SUNbashi CAFÉほか 内容:海藻をテーマに海と人のつながりを探る 参加:事前申込要(詳細は萩ジオパーク推進協議会HP参照) 参加費:中学生以上1,000円・小学生以下500円 定員:20名(先着申込順) 主催:萩ジオパーク推進協議会(0838-21-7765)

●萩ジオパーク×萩・椿まつり 2月21日(土)～3月22日(日) 場所:笠山山頂展望台 内容:「萩・椿まつり」とのコラボ企画として、限定カフェメニュー、ジオギンチャク製作体験、越ヶ浜小中学生デザインの椿柄カップシールでのドリンク販売を実施 主催:萩ジオパーク推進協議会(0838-21-7765)

●萩ジオパークフェア2026 3月1日(日) 時間:10:00～16:00 場所:萩・明倫学舎 内容:「萩・明倫学舎の文化祭」とのコラボ行事として、大地の成り立ちや人とのつながりを様々な実験・体験を通じて解き明かす 参加:予約不要・入場無料(体験によっては有料) 主催・問合せ:萩ジオパーク推進協議会(0838-21-7765)

●萩ジオアカデミー～海藻から見る北浦の海の今～ 3月7日(土)13:30～14:30 講演、15:00～16:45 観察・ワーク(予定) 場所:阿武町市民センターほか 内容:藻類学専門の村瀬昇教授(水産大学校)を講師として迎え、海藻を取り口に私達の暮らしを取り巻く海の変化についての講演、海藻観察などのフィールド体験を実施 参加:事前申込要(詳細は萩ジオパーク推進協議会HP掲載予定) 主催:萩ジオパーク推進協議会(0838-21-7765)

かわいばれ半田くん

はん

だ

原作:わっきー教授 画:白玉だんご

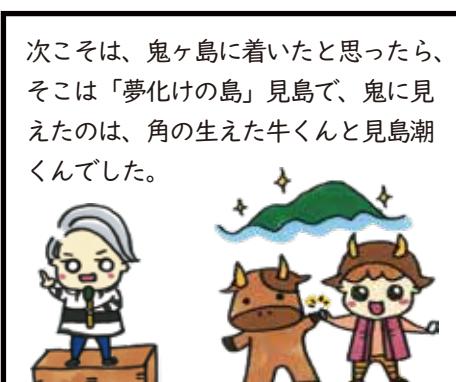
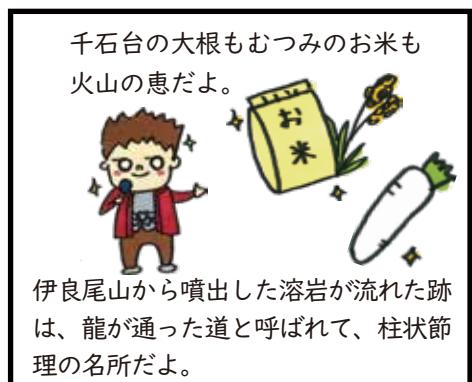
第94話 学習発表会①



第95話 学習発表会②



第96話 学習発表会③



わっきー教授のつぶやき

「がんばれ！半田くん」の第94-96話が掲載されました。半田くんの学校では、6年生が学習発表会をやるようです。最終学年としての矜持をもって、1年間のジオ学習の成果を発表しました。

萩ジオパークには、いろいろなジオサイトがあります。できた時代が最も古いのは、主人公の半田くんの家がある半田地区や山口市阿東蔵目喜地区に分布する石灰岩です。今から約3億年前後に大海原の珊瑚礁として生まれました。珊瑚礁は、海底のプレートが移動するのにつれて、次第に陸地に近づいて、約2.6億年前に日本付近にやってきて、石灰岩として日本の陸地の一部になりました。

その後、地球は中生代という恐竜が闊歩する時代になりました。残念ながら、萩には恐竜化石は発見されていませんが、下関では恐竜化石がみつかっているので、きっと恐竜が歩き回っていたに違いありません。しかし、今から約1億年前には、萩ジオパーク一帯は、激しい火山活動によって、火山灰や火碎流、溶岩などで覆われ、生きていた動植物はすべて焼き払われたと思われます。佐々並地区には、直径10数kmのカルデラの痕跡が見つかっています。阿蘇山のように巨大噴火を繰り返していたに違いありません。その当時、火山の地下にあったマグマが冷えて固



まった岩石が、萩ジオパークには沢山あります。萩城のある指月山や、萩市街地の南東にある田床山などは、この時期のマグマが冷えて固まった石でできています。

見島は、萩沖約45kmの日本海に浮かぶ島で、直木賞作家伊予原新氏の小説「夢化けの島」の舞台になった島でもあります。今から約2000万年前にアジア大陸が裂けて日本海ができたときに噴出した火山によってできた島です。もちろん鬼ヶ島などではなく、平和で美しい島です。見島牛も可愛いですよね。モー！最高！

萩六島や伊良尾山、笠山などは、山口県唯一の活火山として知られています。畠ヶ淵などでは、美しい柱状節理を観察することができます。噴出した溶岩が作った溶岩台地が至る所にあり、その一つ千石台は、山口県最大の大根産地となっています。

半田くんたち、6年生は、萩ジオパークのジオ学習で多くのことを学んだようですね。安心しました。でも、ドジな半田くんだけは、まだまだ心配です。